

平成30年度

こども園の自己評価表

吉野川市立川島こども園

【評価対象期間】

平成30年4月1日から平成31年1月31日

【評価責任者】

吉野川市川島町栗村2421-1
吉野川市立川島こども園

園長 近久 謙二

こども園における自己評価の結果

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

項目

◎ 保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育・教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ、0歳児から小学校就学前までの幼児の成長を見据え、一貫した保育・教育を行っている。幼保3法令が改訂され、全職員がしっかりと目標を理解し積極的に研修を受け、取り組むべき課題に関して共通の認識・理解を図っている。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育・教育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				3法令の改訂により、0. 1. 2歳児の保育において、子どもの様子や育ちの姿を見据えた上で、個別指導計画を立案し対応した。子どもの心身の成長発達にとって極めて重要な時期の保育・教育に携わっているということを、職員は十分に認識し、資質・専門性の向上につとめていきたい。子どもの実態に即したねらいや内容が経験できるような環境構成を考え工夫している。指導計画・週案日誌等の形式や記録の方法などを毎年見直し、一人一人に愛情を持った援助を心がけている。今後子どもにとって直接体験が出来るカリキュラムを新しく取り入れたい。
	(2) 環境の構成を意識した保育・教育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育・教育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			子どもの生活リズムに配慮し、興味や関心を大切にしながら、子どもの生活を大切にしたい視点で捉えたい。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				年齢や興味に応じたねらいを達成するために、職員会議などで意見を聞きながらすすめている。保護者参加の行事については、実施前に役員会を開催し、前年度の反省も踏まえて検討している。参観日の後には、保護者研修を取り入れているが、多くの方に参加してもらうために、内容を熟慮している。子どもと共に実施する行事については全職員が責任を持って計画的に取り組んでいる。地域の人たちと交流しながら、相互のねらいを達成できるようにしている。また、行事ごとの反省点を明確にして次回に向けた活動を具体的にを行い、より充実していく。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育・教育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営 ・ 組 織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				シフト勤務のため、各クラス連絡をとりあい、応援に入ったり協力したりしながら進めている。今年度は職員異動が大幅にあったので、相談・連絡・報告が怠らないように、職員会議の回数も増やしている。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				園内研修では、時間をずらし2回実施することで、全員が参加できるようにし、研修や会議内容は必ず記録して全職員に回覧している。また保育教諭が自分の専門性が高められるように、同僚性を大切にして保育・教育していく。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				クラスでは、個々の子どもの実態に合わせた目標や援助について話し合い実践している。同年齢及び異年齢児でも職員間で計画を見直し改善を進めている。さらに、クラス・年齢別・園全体と保育についての計画表を事前提出し振り返りがスムーズに行えるような組織づくりを考え実践していきたい。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(4) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			今年度より保健師が常駐し、子ども達の日々の健康管理や定期的に保健便りを発行したり、子どもに異常が認められたときには、担任と連携をとり危機管理対応マニュアルを基に対応している。 毎朝の立哨や交通安全教室でも、保護者や園児に駐車場や横断歩道の安全確認・通行の仕方等の指導をしている。 地震・火災を想定し避難マニュアルに従って、毎月避難訓練を行い、安全
(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○					
(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。			○				
つ 情 報 に 関 する	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報保護は、職員及び保護者に機会あるごとに繰り返し周知している。個人情報が含まれる書類等は、鍵のかかる場所で保管している。公文書收受、発送等は、適正に処理している。職員会議のミーティングで様々な情報交換を行っているが、守秘義務があることを知らせ、家族にも口外しないことを指導している。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
施 設 ・ 設 備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				施設内外設備の安全点検は、定期的に業者及び職員が行い、改善している。園児の安全に配慮している。不審者対応については計画的に行っているが、安全についての意識を高める指導を強化する。掲示板は感染症の表示を保護者が見やすい場所にクラス別に掲示したり、他のお知らせもその都度掲示して報告している。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納経理	(1) 保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				適正に処理している。	

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれたこども園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				地域の小学校(2校)、中学校(2校)、高等学校(1校)との交流を年間20回ほど実施している。交流を通じ、他校の児童生徒とのふれあいの中で、憧れの気持ちを持ったり積極的に人とかかわろうとしたりする姿が見られた。今年度は、4・5歳児が中心となって交流を進めており回数も多くなっている。交流する年齢を広げたり実施時期(感染症が多い時期)や回数を検討していきたい。
		(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。		○			
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			今年度は、自由参加日(月1回保護者が自由に参観出来る日)が出来なかったため、来年は事前計画をしっかりと、行うようにする。交通ボランティア2名(毎日)、老人会2名(週2回)が横断歩道で立哨指導を実施し、園児の安全を見守ってくれている。地区社協や老人会の運動会、敬老会、ダーツ大会、クリスマス会等にも参加し、楽しみながら交流を深めている。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				園庭開放(月2回)、一時預かりを(1日3名まで)実施している。また、支援センターでは、子育て何でも相談や子どものための食育サロン等を毎月計画的に実施し、子育てについて学習する機会を設けている。市の保健師と発達支援センターきりんの職員による巡回訪問を年間4回実施し、子どもの発達や個別の支援方法について指導を受けている。また、配慮を要する子どもについては、園児の個々に応じた指導計画を作成し外部の専門機関とも連携を密にし専門的な意見を参考にしながら指導に努める。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○				
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1) こども園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			こども園だよりは毎月、クラスだよりは、年3回発信している。月初めには地域の新聞販売店発行の広報誌に園の行事予定を載せているので、特に園庭開放への参加者は日時を知って参加している。また、感染症の表示をクラス別に保護者が見やすい場所に掲示したり、保護者への伝達事項も掲示板に掲示したりして、情報の発信を行っている。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		第三者評価は導入していない。年1回は保護者アンケートを実施し、出された意見に対しては、たとえ少数意見であっても、今後園運営にプラスになると判断したものについては、積極的に取り入れ、子ども達の成長をバックアップできる取組をすすめている。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			